

つたざわ



学校教育目標

わくわく学び

いきいき挑戦する

児童の育成

子どもたちから生まれる未来を信じて

～ 母校を巣立つ十七名へ ～

学校長

三月二十三日に蔦沢小学校六年生十七名が学び舎を巣立っていきます。この十七名は蔦沢小学校としての第一期卒業生となります。卒業生たちは、小学校生活後半、新型コロナウイルス感染症の嵐が吹き荒れ、様々な場面で学校生活が制約されましたが、工夫し、しかも明るく前向きに、しっかりと学校生活を送ってくれました。また、本年度より新生蔦沢小学校の最高学年として、旧伊水小・都多小学校の伝統を受け継ぎながら、新たな伝統を創り出す、懸命な姿を見ていた私にとっても心に残る卒業生です。

さて、そんな卒業生十七名が、これから生きていく未来の社会はどうなるのでしょうか。

「情報化、グローバル化が進み急速に社会情勢が変化する中で生きていくことは大変だ」と子どもたちの未来を心配する声もあります。例えば、オックスフォード大学マイケル・A・オズボーン准教授が発表した論文中的一説が子どもたちの未来を不透明なものにしているようです。

「人工知能（AI）の発達により十年後には今の職業の半数近くの仕事はなくなる。」

まるで人工知能に子どもたちの未来を奪われてしまうかのように思え、未来に少し不安を感じる人もいることと思います。本当に子どもたちの未来は人工知能に奪われてしまうのでしょうか。

人工知能に対して「人間の強み」を考えてみると『創造力』『コミュニケーション力』『調整力』『決断力』などが挙げられます。

「いくら人工知能がデータや情報に基づいて最適な判断を下し便利な世の中になっても、イノベーションを起こし、新しいアイデアは人間が生み出す。」とよく言われます。

この考えをネガティブに解釈すると優秀な一部の発明家のような人間のみの明るい未来を指しているように捉えてしまいます。でも、その発明家のアイデアを実現させていくのは一部の人間だけでは不可能です。多くの人間の強みがあってこそ実現するのだと思います。例えば、自動車の『自動運転』を例にして考えてみます。自動運転のシステムは確かに限られた技術者によってしか構築できないでしょう。しかし、その人たちだけで自動運転が実現し、わたしたちの生活を豊かにするものにはならないのではないのでしょうか。システムを機械的に設計する人、組み立てる人、安全性を考えデータを修正する人、歩行者と自動運転の調整を考える人、さらに言えば自動運転に適した道路や信号などを考える人・作る人、自動運転にあった街づくりを考える人・作る人…など多くの人が「創造力」を働かせ「コミュニケーション」を取りながら試行錯誤し「調整・決断」することによってこそ自動車の自動運転が安全で実現可能なものになっていくと思うのです。人工知能をよりよく活用し、人のくらしにつなげるにはやはり人間が人間の強みを発揮することが必要になるでしょう。そして、そこには新しい職業も生まれてきそうです。

また、「自分の思いや感情（悲しみ、怒り、喜びなど）」を表現することは人工知能には難しいようです。

芸術家の岡本太郎さん（代表作：太陽の塔）が「あなたの職業は何ですか」と聞かれたときに「人間だ！」と答えたそうです。人工知能に岡本太郎さんの作風をデータ化し入力すれば、岡本太郎風の新作を描くことは可能でしょう。しかし、それは岡本太郎さんの作品ではありません。なぜなら、複雑な思いや感情がその作品には込められていないのですから。思いや感情が心の中に渦巻く人間にこそ真の絵画は描けるのだと思います。芸術の分野に限りません。日々の生活の中で、心の機微に触れ、様々な状況に応じて相手の気持ちを考えたり、相手に応じてふさわしい表現方法を

選んだりすることは人間には簡単なことですが、人工知能はデータに基づいた応対しかできません。また、時に人間がするあえて理屈に合わない「急がば回れ」的な判断も、最適な選択、合理的な選択を得意とする人工知能は苦手です。さらに、ちよとした感情の行き違いを感じ取り、修正することやいわゆる空気を読みながら感情をコントロールしたり、感情のやりとりをしながら他者と協働したりして課題解決を進めることなどは人間にはかなわないでしょう。

他にも社会を豊かにし、明るい未来をつくるために人間の強みを活かせることはたくさんありそうです。

少し話がややこしくなってきましたが、私は、六年間の小学校教育を通し、十七名の卒業生たちには「人間の強み」が確実に育ってきていると思います。ですから、『子どもたちから明るい未来が生まれる』ことは間違いないと思っています。

もう一度言います。私は、子どもたちが明るい未来を生み出し、社会を担ってくれることを強く信じています。

どうか、保護者の皆様、地域の皆様、卒業生が作り出す未来を信じ、これからも十七名の子どもたちを温かい目で見守ってくださいようよろしくお願ひします。

そして、私から十七名の卒業生に言葉を送ります。これは私がいつも卒業生に贈る言葉です。心の片隅に留め置いてくれたら幸いです。

【真理を語れる人に】

『真理』とは、真実の道理、正しい物事の道筋と辞書を引くと出ています。

テレビ・雑誌などから入ってくる情報は実は正しいものばかりではありません。また、流行というものの中にも偽りを含んだものが少なくありません。そのような誤った情報や流行に生き方を曲げられたり、抑圧されたりすることがあります。だからこそ、自分を見失わずに生きるために、真理を見いだす力をつけてください。そのためには、様々なことを、様々な場で学び続けることです。学校の勉強も大切な学びです。それに加えて、人のこと、社会のこと、生きることなどたくさん学びがあります。それらのことを学び続けてください。そして、得た真理を周囲の人に語る人になってください。

最後に「読書のすすめ」です。私自身、子どもの頃はいわゆる「読書嫌い」でした。大人になってからできるだけ本を読もうとしましたが、読書習慣が小さいころに身に付いていないので、読み進む

のが遅くて、すぐに眠くなってしまつて…卒業生の皆さんは、ぜひ、「読書好き」になってください。本からは先人の知恵や経験・考え方、歴史の因果など実に多くのことを学ぶことができます。その道の一流の人物や歴史上の人物とも本を介して出会うことができます。また、古典も読んでみてください。古くから読み継がれているにはそれなりの理由があります。一度読んだだけでは難解な本や良書は繰り返し読んでください。本は心と頭の栄養です。本を読む習慣をぜひ、身につけてください。

思いつく、お薦めの本を紹介しておきます。

○ 中学時代に読んでほしい本

「君たちはどう生きるか」（吉野源三郎）

○ 二十歳までに読んでほしい本

「幸福論」（ヒルティ）

（うち「仕事の上手な仕方」「時間のつくり方」）

○ 二十代に読んでほしい本

「ゴルギアス」（プラトン）…二千年前の本が読める面白さ

「春宵十話」（岡潔）

…鬼才のエッセイ。全て共感できるわけはありませんが、ちよと難解です。

十七名の明るい未来を心より願ひます。

校報「つたざわ」では、「蔦沢小学校」一年目の子どもたちの様子を発信して参りました。この一年間の皆様のご支援に心より感謝しております。二年目、三年目…と蔦沢小学校の教育活動推進に努めて参りますので、今後ともご支援・ご理解のほどよろしくお願ひします。

☆蔦沢小学校見守り隊の皆様へ

蔦沢小学校見守り隊の皆様、本年度も登下校の見守り活動でたいへんお世話になりました。児童たちが大きな事故もなく元気に登校できましたこと、心より感謝申し上げます。

本校の教育活動にとって、登下校時の安全は非常に大切なものと考えております。来年度も引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、校区で蔦沢小学校見守り隊として、見守り活動にご協力いただける方の募集をしております。蔦沢小学校教頭までご連絡をお願いします。

担任より

蔦沢小学校最初の六年生として、運動会や縦割り班活動について協力しながら考えを出し合っていたことが印象に残っています。来年からは中学生です。小学校生活六年間で学んだことやこの一年で培った「自ら考え行動する力」を糧に、中学校で活躍してくれることを心から祈っています。

小学校の思い出
中学校でがんばりたいこと



私が小学校で思い出に残ったのは、修学旅行です。特に、清水寺、二条城が楽しかったです。中学校では、勉強が難しくなるし、部活があるので大変だと思うけど、体育祭や文化祭など、たくさん行事がとも楽しみます。中学校でがんばりたいことは、新しい友だちをつくることと、勉強です。

私が小学校生活で一番心に残っているのは修学旅行です。これだけが変わりません。特に、京都駅です。京都駅は階段が色んな色に光りとてもきれいでした。他にも映画村のお化け屋敷や金閣寺、清水寺など楽しかったことがたくさんありました。中学三年生の修学旅行では友だちも増えて、もっと楽しくなると思います。



ぼくが小学校生活で思い出に残ったのは修学旅行です。理由は、六年生だけで、宿に泊まったのが初めてで、おいしい料理を食べたりしたのがとても印象に残りました。

多くの小学校生活の思い出は、修学旅行です。特に楽しかったのは映画村です。

僕はカラクリ忍者屋敷が一番楽しかったです。大きなエヴァンゲリオン初号機がありました。背中に階段があつて上まで登ることができました。みんな

なと行けてうれしかったです。

中学校では、算数が数学になって、難しくなるので復習をしっかりしてがんばりたいです。



多くの小学校生活の思い出は、自然学校です。なぜなら、他の学校の人たちと交流はしたことがあるけど一緒に泊りや、カヌー・カヤック体験をできたので思い出です。

中学生になったらたくさんの人と一緒に勉強をするので、がんばりたいです。

私の小学校生活での思い出は、修学旅行です。修学旅行では、映画村や金閣寺にみんなで行ったことがすごく楽しかったです。

私の中学校への抱負は、部活動と勉強の両立です。私はバスケットボール部に入るので、練習と勉強をしっかり両立していけたらいいと思います。



私が六年生で頑張ったことは「協力する」ということです。授業中や運動会、学習発表会、大人数で協力する機会が多い一年だったと思います。中学校では、授業、部活と忙しくなるけど仲間と協力して全ての分野において全力を尽くしたいと思います。

私は、小学校生活で、運動会や学習発表会、修学旅行などが楽しかったです。六年間楽しくできてうれしかったです。都多小学校の時も、蔦沢小学校でもたくさん思い出を作れたので充実した生活ができました。

私が小学校の六年間で一番心に残っているのは修学旅行です。初めて行ったところがあったのも理由の一つですが、とても楽しかったというのが一番の理由です。

中学校では、もっとたくさんの人と関わって、日本一幸せで楽しい中学校生活を送りたいです。私は、クラス発表と部活がとても楽しみです。

私の小学校の思い出は修学旅行です。

なぜなら二つの学校と一緒にあって、初めての大きな行事だったので、とてもいい思い出になりました。最初にみんなに出会った時はどうなるかわからなかったけど、今では、一緒にいるととても楽しい仲間です。



ぼくが、中学生になってがんばりたいことは、勉強です。

理由は、今までは高い点数を取れていたけど中学生になったら、テストが難しくなります。中学生になっても習った内容が理解できるように、しっかり勉強していきたいです。

私が中学校でがんばりたいことは、「勉強」と「部活」です。

まず、勉強で特にがんばりたいことは「算数(数学)」です。私は国語が好きだけど、算数が苦手なので、特にがんばっていききたいです。部活は、「卓球部」に入りたいので、精一杯引き上げてがんばります。



私の思い出は全校遊びです。後もう少して卒業して、みんなと会えなくなるかもしれないので、とてもさびしいです。今思えば六年間って本当に早いです。みんなで全校遊びとかをして、協力したり鬼ごっこで逃げ回ったりして楽しかったです。

多くの小学校での思い出は運動会です。

なぜかという一年一年運動会の中身は変わっているし、コロナ禍でも楽しくできて最後の最後まで、楽しくドキドキしながら取り組むことができたからです。

ぼくが小学校の六年間で一番思い出に残ったのは六年生の運動会です。

運動会では、今年、新しくできた四色オセロやリレーとかがあつても楽しかったです。代表リレーは出られなかったけど、二位だったのでうれしかったです。いい思い出になりました。

ぼくが小学校生活で一番楽しかったのは、六年生の運動会です。理由は、みんなで仲良く協力してできたし、みんなすごく楽しそうだったと思ったからです。六年生もすごくうれしそうだったから、六年生の運動会が一番の思い出です。



私が中学校でがんばりたいことは、聞く姿勢です。聞く姿勢とは、話している人の方を見ることや、話している人の方を向いて聞くことです。なぜ、がんばりたいかというと、自分の聞く姿勢が悪いときがあるので、聞きのがさないうようにしたいからです。

★読み聞かせボランティアを募集します

「読み聞かせをしたい」「子どもに本の楽しさを伝えたい」と思っている人はいませんか。保護者・地域の方で水曜日の八時〜八時半頃まで活動できる方(来られる日だけでも構いません)興味のある方はお気軽に、学校までお知らせ下さい。

あなたも読書ボランティアを始めてみませんか。

3月の行事予定

20日(月)	卒業式予行 給食最終日
21日(火)	春分の日
23日(木)	卒業証書授与式
24日(金)	修了式
25日(土)	春期休業開始



4月の行事予定

6日(木)	離任式
7日(金)	入学式 始業式
13日(木)	給食開始
14日(金)	PTA本部役員会
18日(火)	全国学力学習状況調査
19日(水)	授業参観日 PTA総会
24日(月)	家庭訪問
25日(火)	交通安全教室
29日(土)	昭和の日

